

初動対応要領(関係機関による手順)

事件の把握(情報収集)及び現場への移動(消防・警察等)



指揮所(現地調整所)の設立(消防・警察・地方自治体等)



現場の封鎖、警戒、市民の避難(警察・地方自治体等)



警戒区域の設定(ゾーニング)(消防・地方自治体等)



除染(消防・自衛隊等)、救護(医療機関)

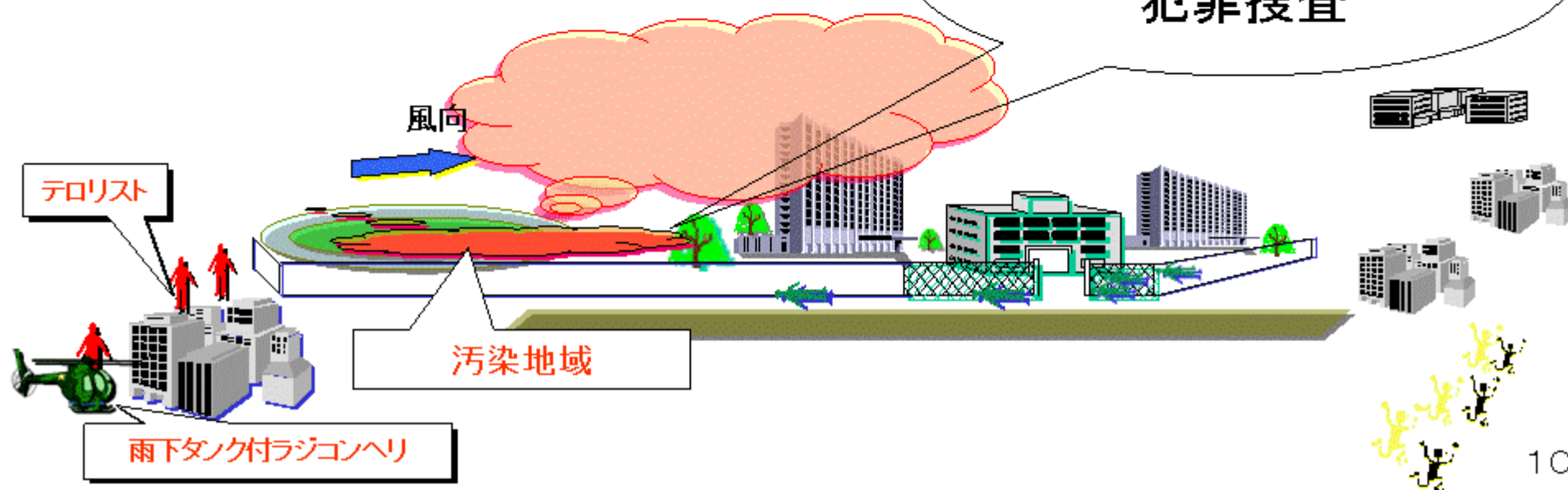


状況の解明及び犯罪捜査(警察等)

初動対応要領(現場対応者)

- 発生現場(汚染)へ進出 → 自らの防護
- 警戒区域の設定(ゾーニング)
- 被災者の救助等 → 治療、搬送
- 汚染範囲等の確認 → 剤の有無、種類の同定
- 汚染人員、汚染場所の除染 → 剤の無毒化

現場被災者の救助
犯罪捜査



初動対処要領(統制者)

- 救助、除染活動の統制

- 警報発令(住民避難)
- 現場封鎖区域の設定
- 周辺住民等への広報



剤雲の流動予測

現場被災者の救助

被害拡大防止
(周辺住民)

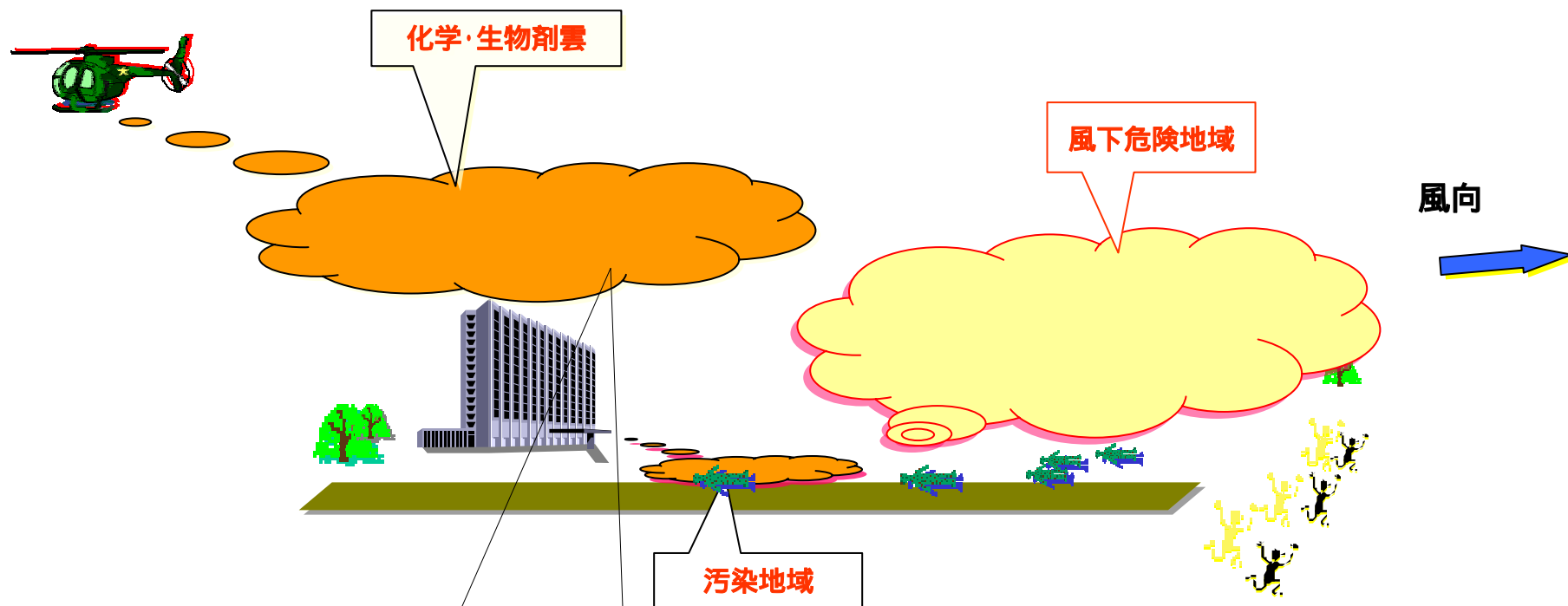
テロリスト

風向

汚染地域

雨下タンク付ラジコンヘリ

推進すべき科学技術(探知)



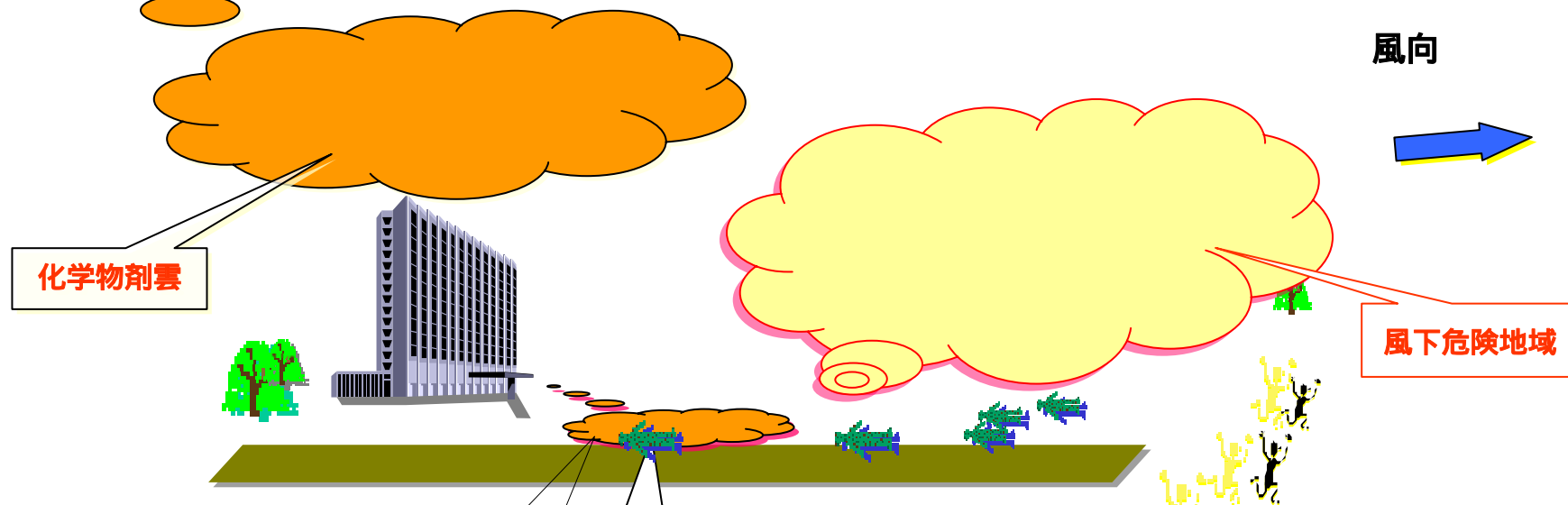
剤雲を遠隔探知(発見)し剤雲の流動を予測できる技術

- 赤外線レーザー
- UAV(無人機)
- 被害予測シミュレーション
- サーベランス(生物)

推進すべき科学技術(B の検知・同定)

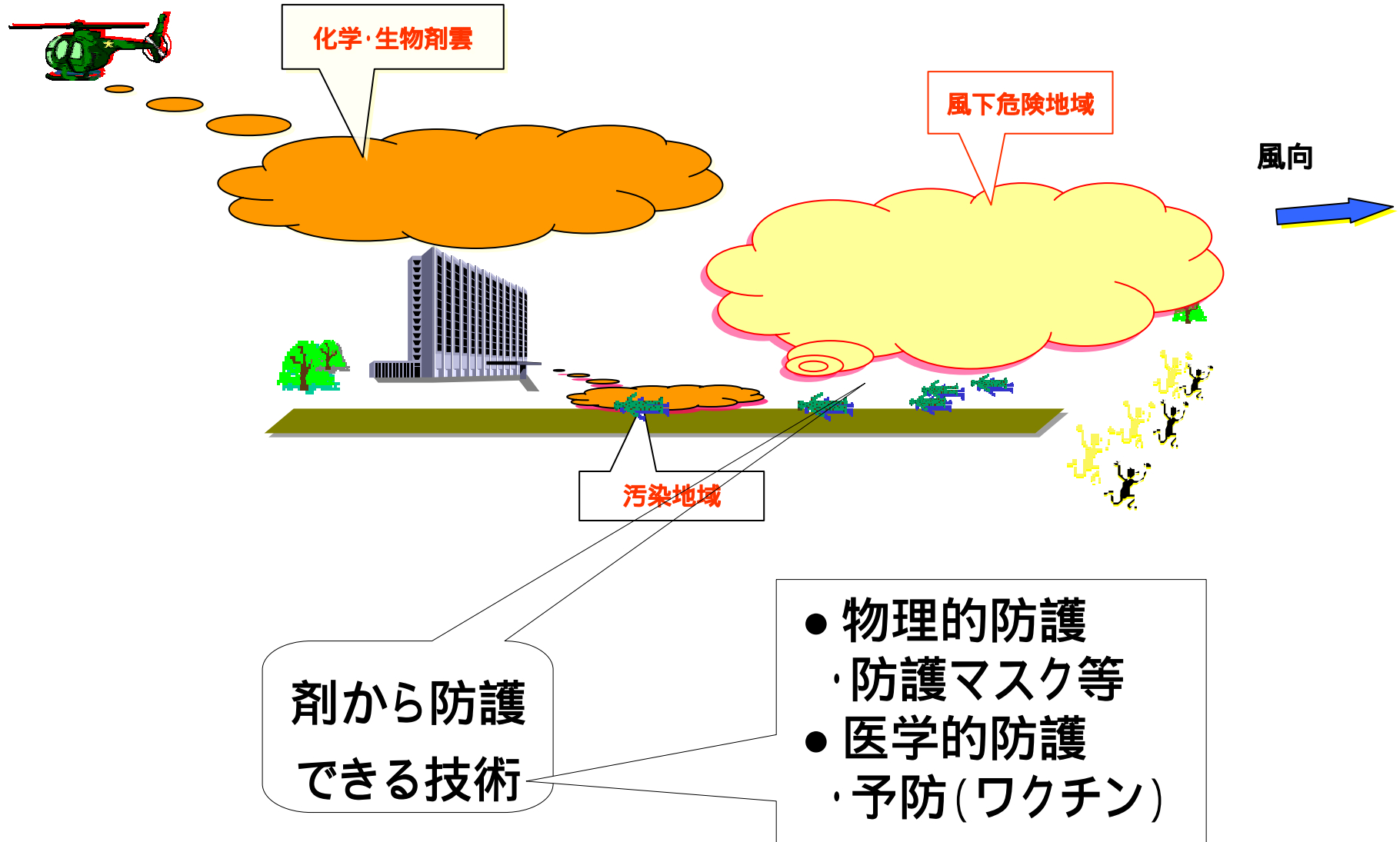


推進すべき科学技術(Cの検知・同定)

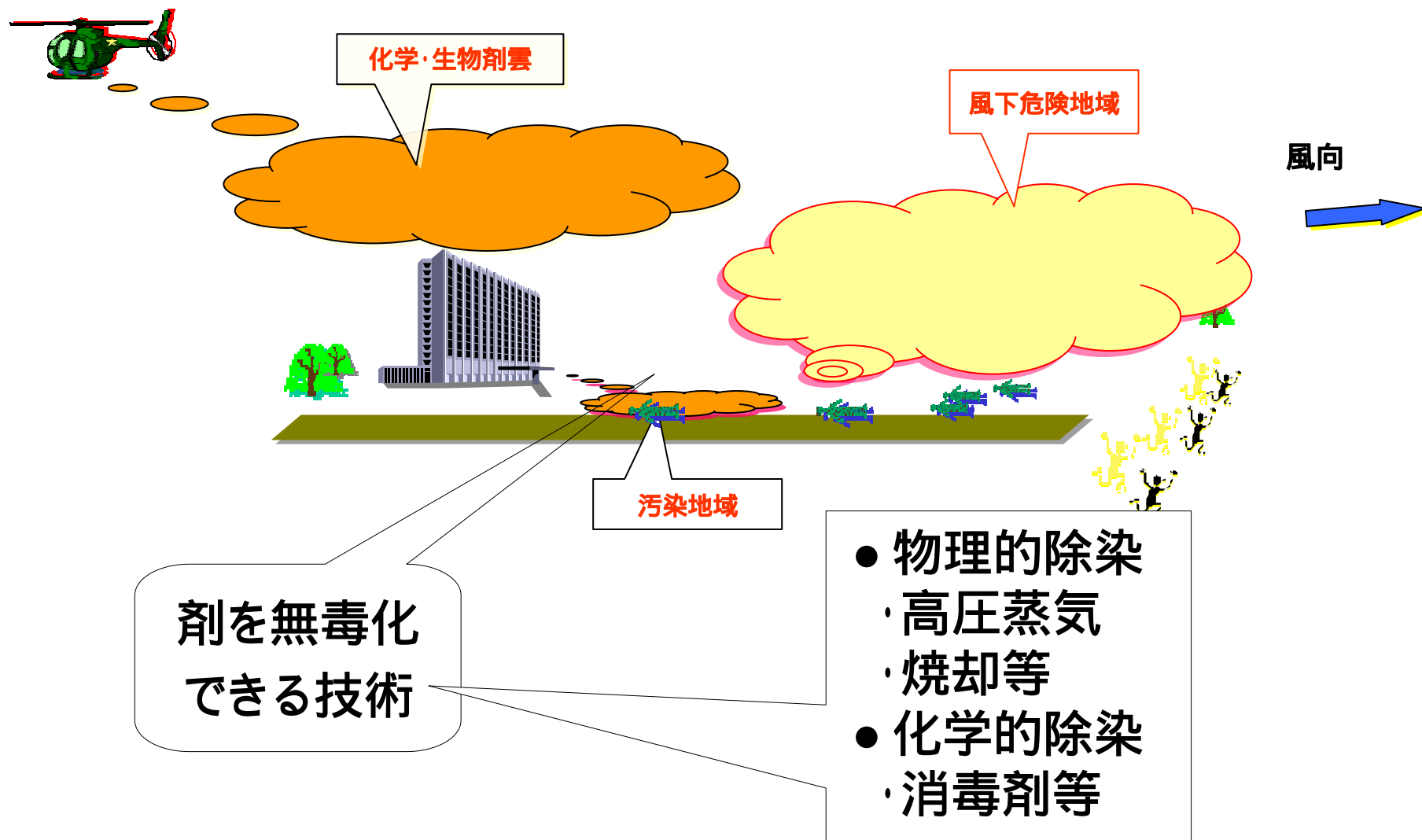


- 化学剤の有無
・検知紙(化学)
- 化学剤の種類
・イオンモビリティ
・水素発光分析法
・質量分析法
・放射線の利用
・表面弾性波

推進すべき科学技術(防護)



推進すべき科学技術(除染)



N B C テロ 対 策 提 言

- 対処に必要な装備品の保有(防護、偵察、除染等)
装備品の自国開発技術基盤の確保 → 産学官の連携
- 対処基準(警戒区域等)の確立
→ 対処要領のオーソライズ、対処マニュアルの整備
- N B C テロ対処協同訓練
→ 地方自治体、警察、消防、医療関係者、自衛隊等
- 人材育成(教育システムの整備)
→ 危機管理専門家による民営機関の設立

ま と め

1 N B C テロの使用手段

多様な手段があり、事前の使用予測が困難

2 N B C テロのイメージ

一度に広範囲の汚染、大量の被害者の発生

3 B C テロの初動対処要領

迅速な対応、関係機関による連携が不可欠

4 推進すべき科学技術

N B C の使用を速やかに察知する技術の国内開発
(探知、検知及び同定関連装備品の充実)